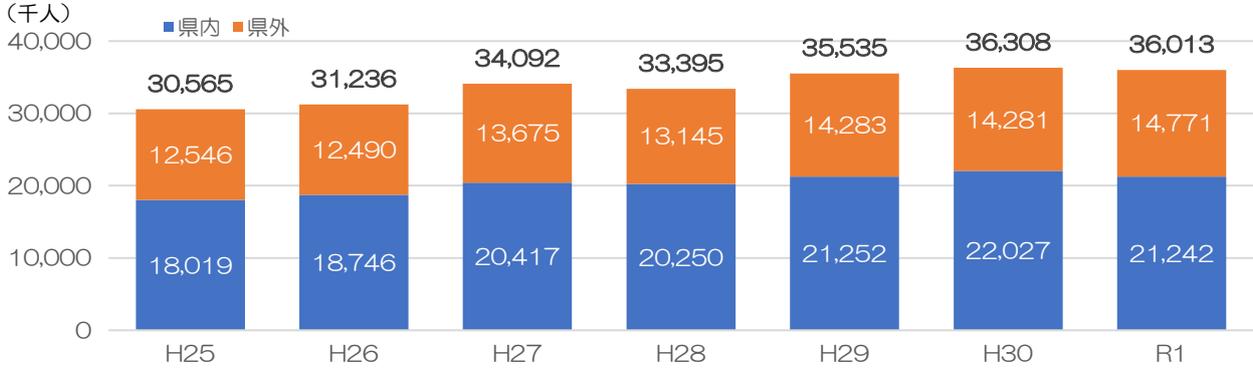


統計から見る防府市の観光の状況について

(1) 山口県の観光動向について

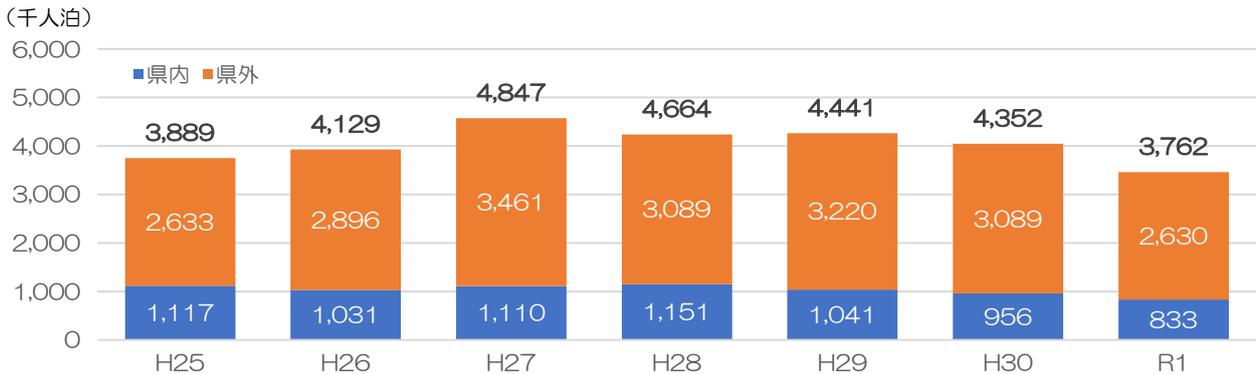
① 観光入込客数

▶ 近年、H29 幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン、H30 山口ゆめ花博等によって、増加したが、H30 の豪雨災害の影響で伸び悩み、概ね横ばい傾向である。



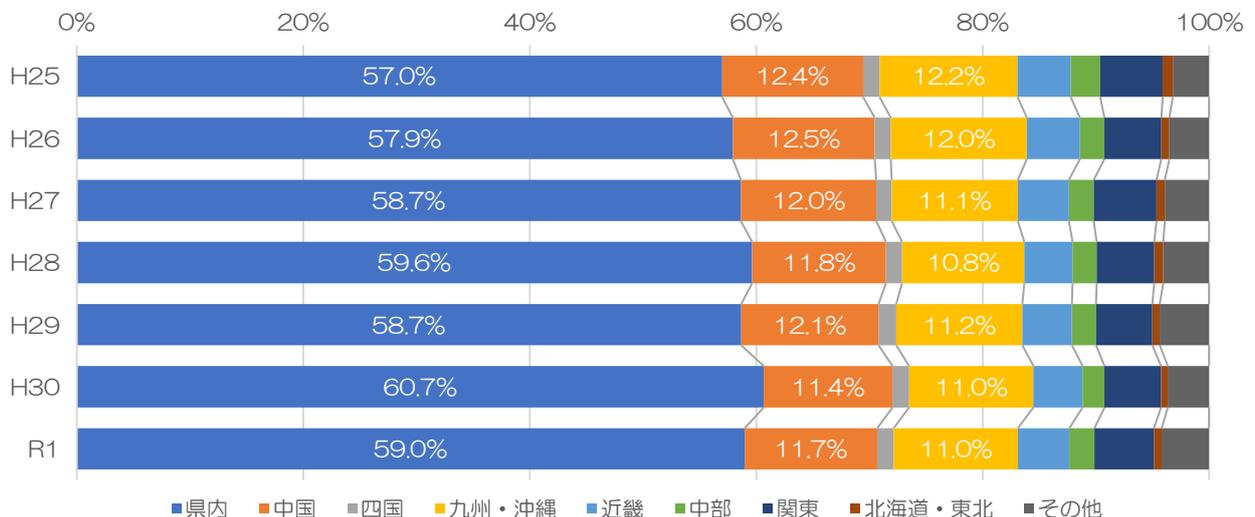
② 宿泊客数

▶ R1 は、「山口ゆめ花博」やDC（デスティネーションキャンペーン）等の大規模イベントがなかったことにより、減少している。
▶ 観光入込客数は微増であるものの、宿泊客数は減少傾向で日帰り客が多くなっていきていることが推測される。



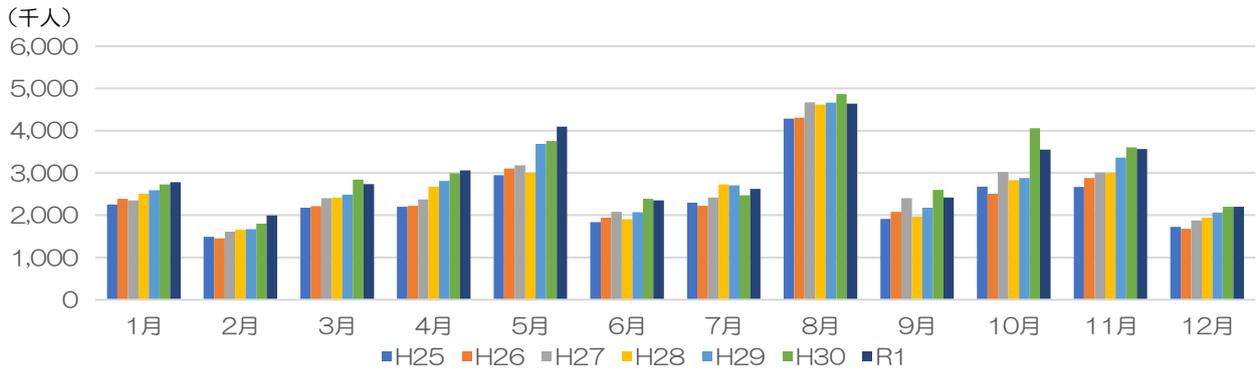
③ 発地別観光入込客数

▶ 「県内」からの観光客数が半数を占めており、次いで、「中国」、「九州・沖縄」の割合が高い状況となっている。



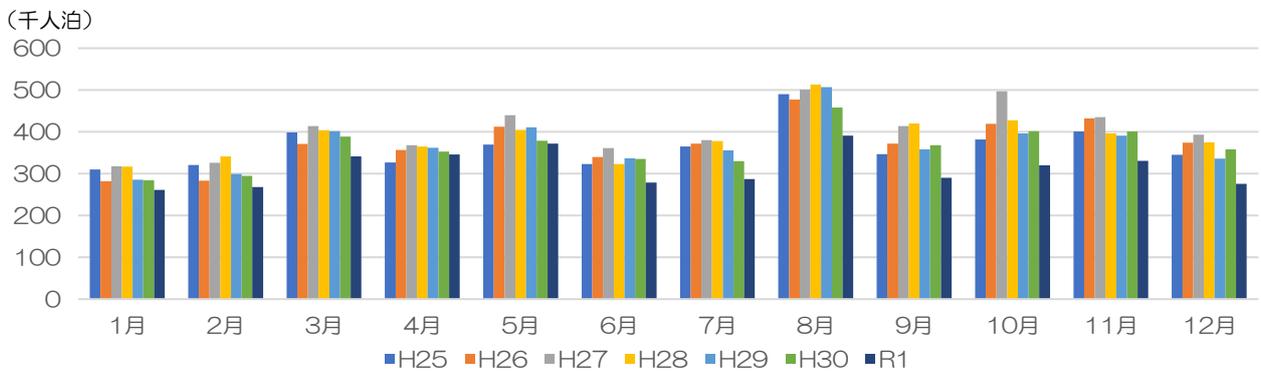
④月別観光入込客数

- 8月の観光入込客数が最も多く、次いで、5月、10月、11月が多い状況である。
- 全体的にどの月も増加傾向ではあるが、6月、7月、9月、12月は横ばいである。



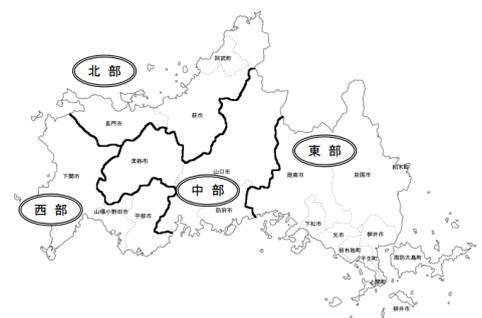
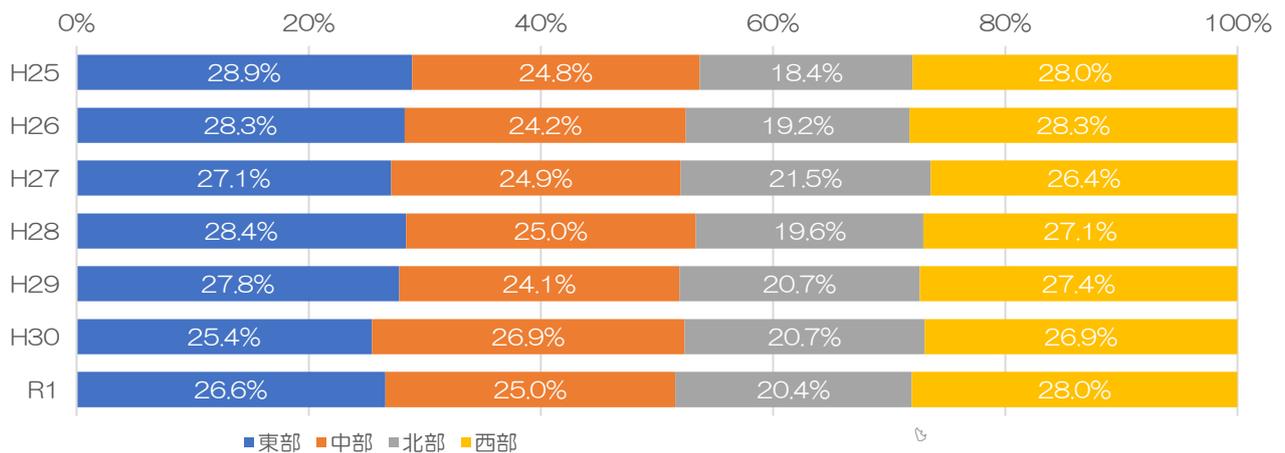
⑤月別宿泊者数

- 8月の宿泊が最も多く、その他の時期は平準的な数で推移している。
- R1については、6月以降の宿泊者数が前年に比べて減少傾向である。



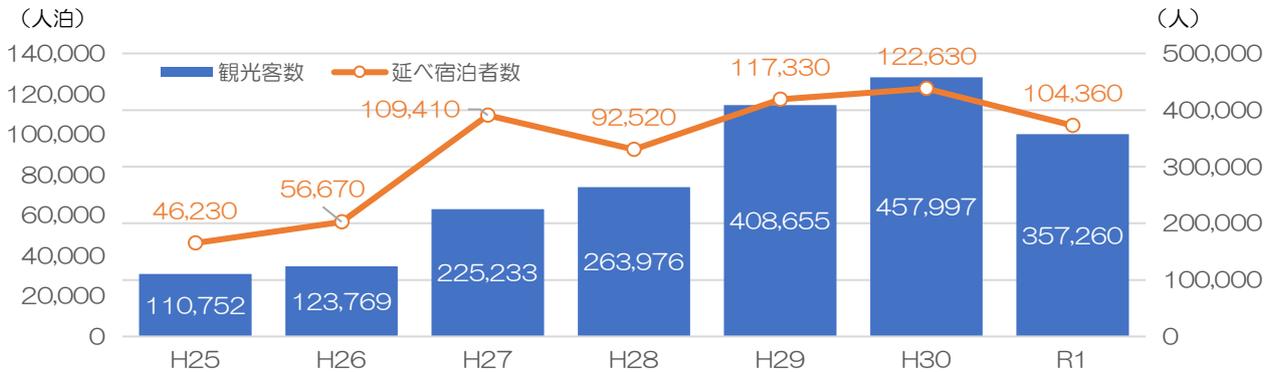
⑥地域別観光入込客数

- 大きな割合の変化はないが、中部が占める割合が増えつつある。



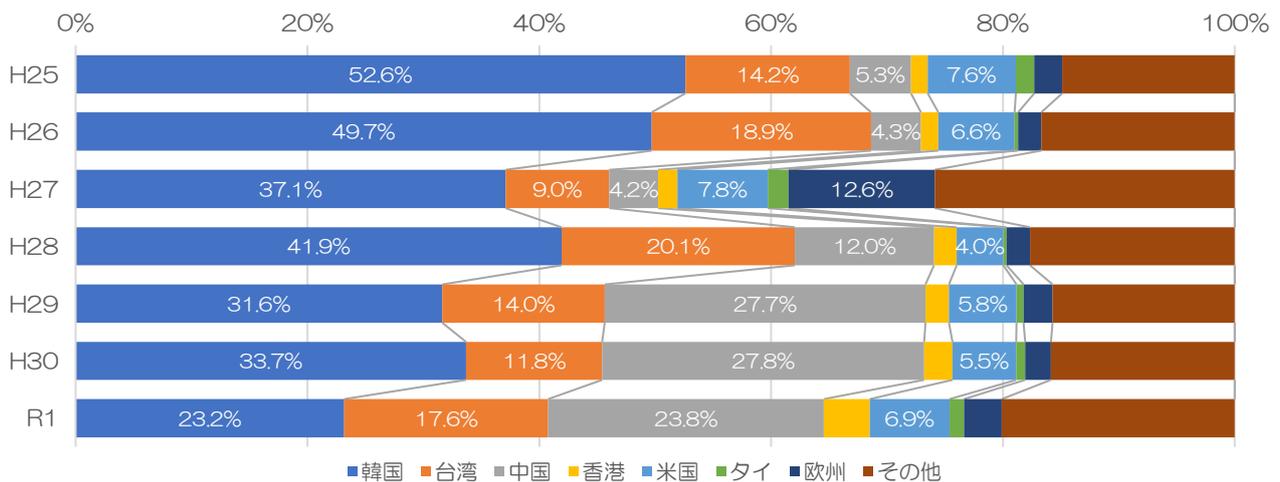
⑥訪日外国人入込客数

- ▶ 訪日外国人入込客数は H29 より大幅に増加してきたが、日韓関係の影響から、R1 は減少している。
- ▶ 宿泊者数については、H27 に大幅に増加したが、その後減少し、微増傾向であった。R1 については入込客数同様、減少している。



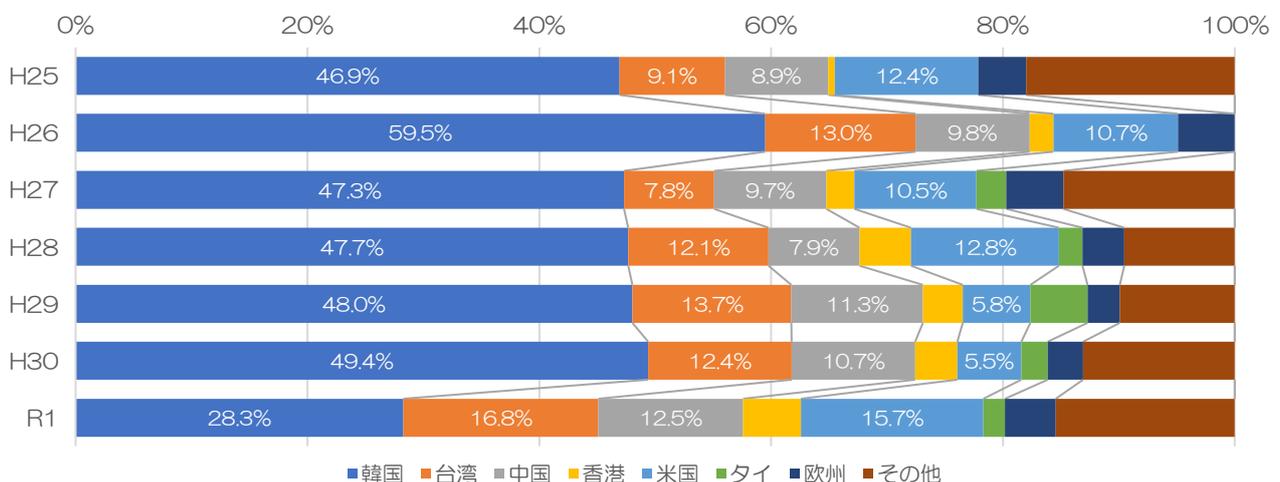
⑦市場別訪日外国人入込客数

- ▶ 韓国が多くを占めている状況であったが、日韓関係の影響で R1 は減少傾向である。
- ▶ 一方、中国からの入込客は近年増加傾向である。
- ▶ 台湾は横ばい傾向である。



⑧市場別訪日外国人宿泊者数

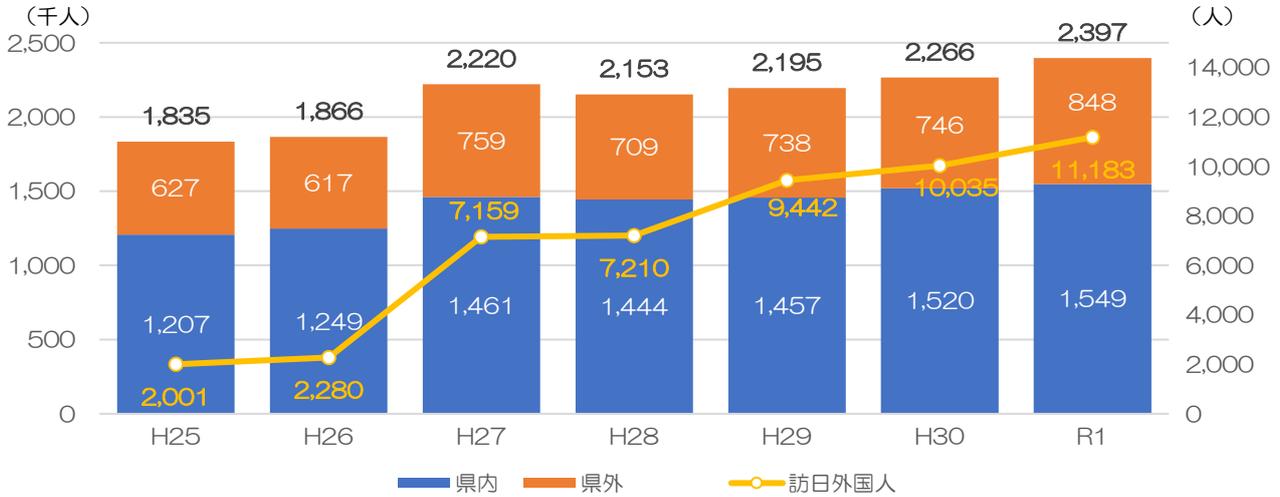
- ▶ 韓国が多くを占めている状況であったが、日韓関係の影響で R1 は減少傾向である。
- ▶ 台湾、中国からの宿泊者は、横ばい傾向である。
- ▶ アメリカの宿泊者は、R1 に大幅に増加している。



(2) 防府市の観光動向について

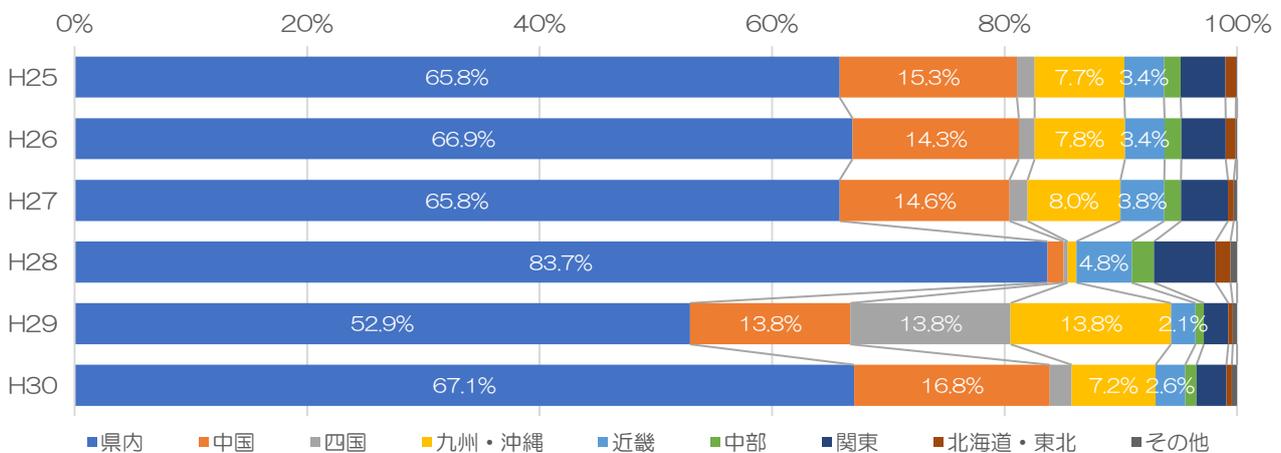
① 観光入込客数

- ▶ 計画策定（H27）後、H28 は台風の影響等で減少したものの、その後は観光入込客数は右肩上がりである。また、訪日外国人においても右肩上がりであり計画の一定の効果が見受けられる。
- ▶ 県内の旅行者は、横ばいではあるが、県外からの旅行者が増えている状況である。



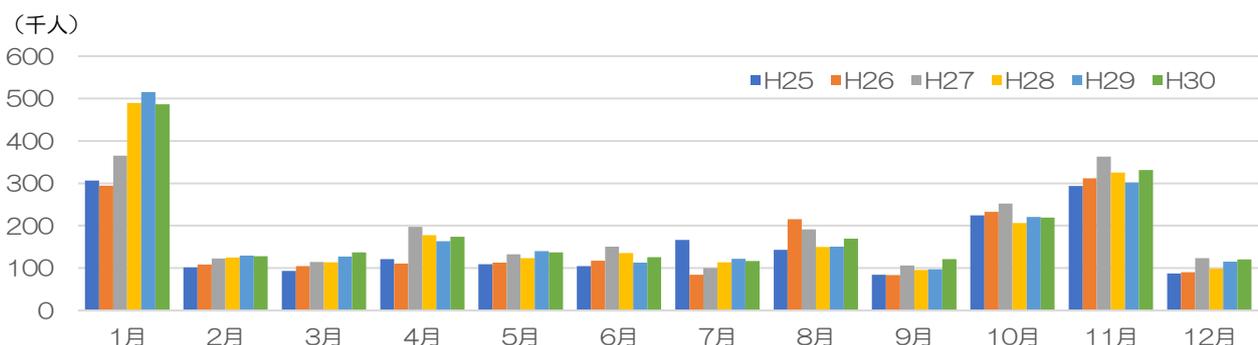
② 発地別観光入込客数

- ▶ 計画策定（H27）後、H28 は県内の入込が約8割を占めていたものの、その後、中国地方や九州・沖縄地方の入込の割合が増えつつある。
- ▶ 四国地方は、H29 では割合が大きくなったものの、H30 では少なくなっている。



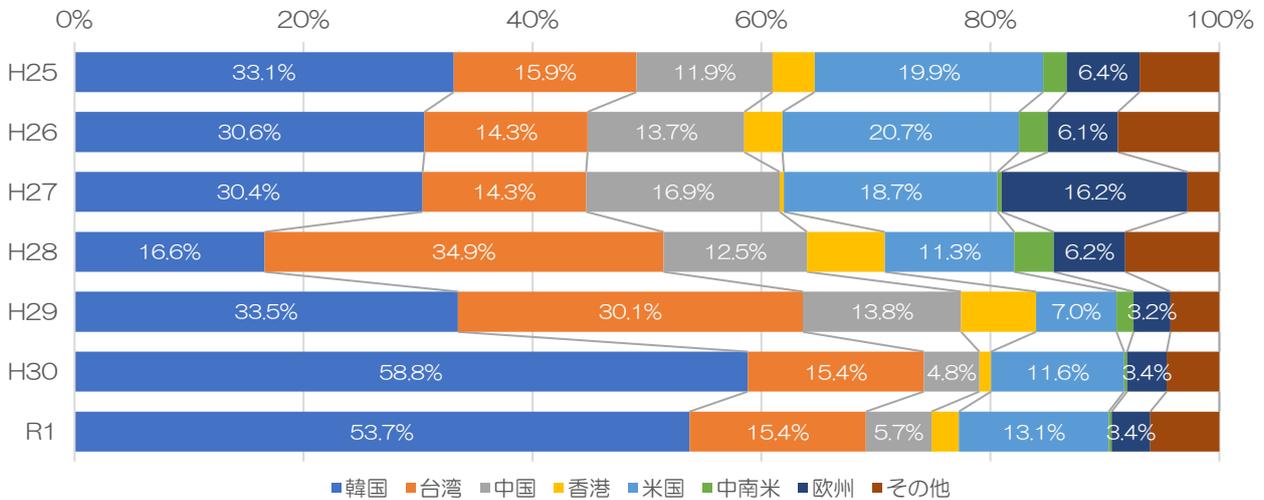
③ 月別観光入込客数

- ▶ 計画策定（H27）時、1月及び11月の入込客数が最も多い状況であったが、その後、1月の入込客数が大きく増えている。
- ▶ また、4月の入込客数も増えている結果となっている。



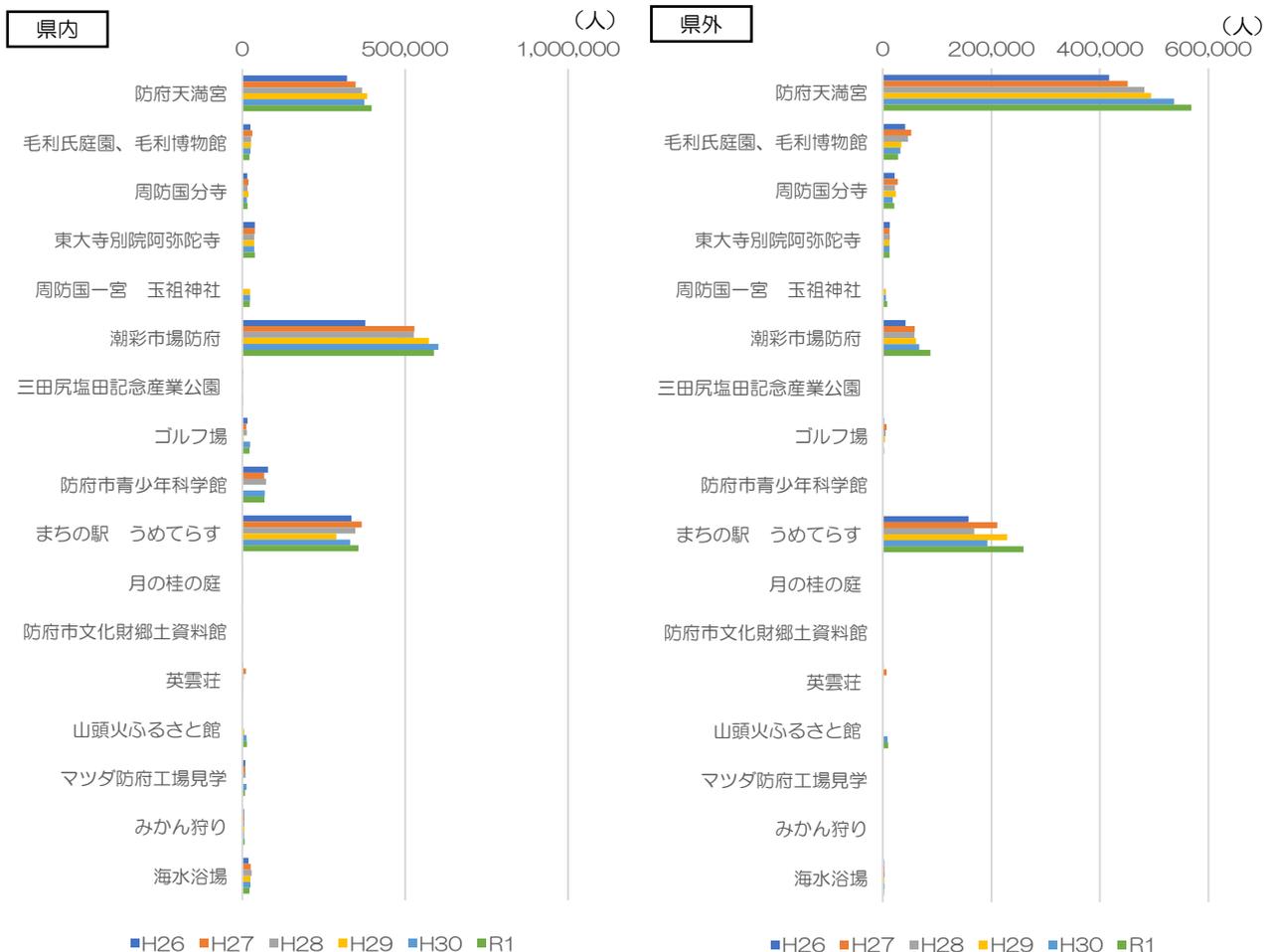
④市場別訪日外国人入込客数

- ▶ 計画策定（H27）時は、台湾が最も多くを占めている結果であったが、その後、H29 から韓国からの訪日外国人の割合が多くなっている。
- ▶ また、中国からの訪日外国人についても減少傾向である一方、アメリカからの訪日外国人は微増傾向である。



⑤観光地別観光入込客数

- ▶ 県内・県外ともに、「防府天満宮」への来訪が多く、県外は計画策定（H27）後、増加傾向である。次いで、「まちの駅 うめてらす」が多く、県外は計画策定後、年によっては増減しているが、全体的に増加傾向である。
- ▶ 一方、県内をみると、「潮彩市場防府」への来訪が最も多く、計画策定（H27）後、年々増加傾向である。



- ▶ 県内では、「愛情防府フリーマーケット」が最も多く、次いで、「春の幸せますフェスタ」、「じばさんフェア」、「夏の幸せますフェア」という結果である。
- ▶ 県外では、「防府読売マラソン」は多くの来訪者が来ており、横ばいではあるが、「春の幸せますフェスタ」は計画策定（H27）後増加傾向で、R1 は大幅に増加している。

